

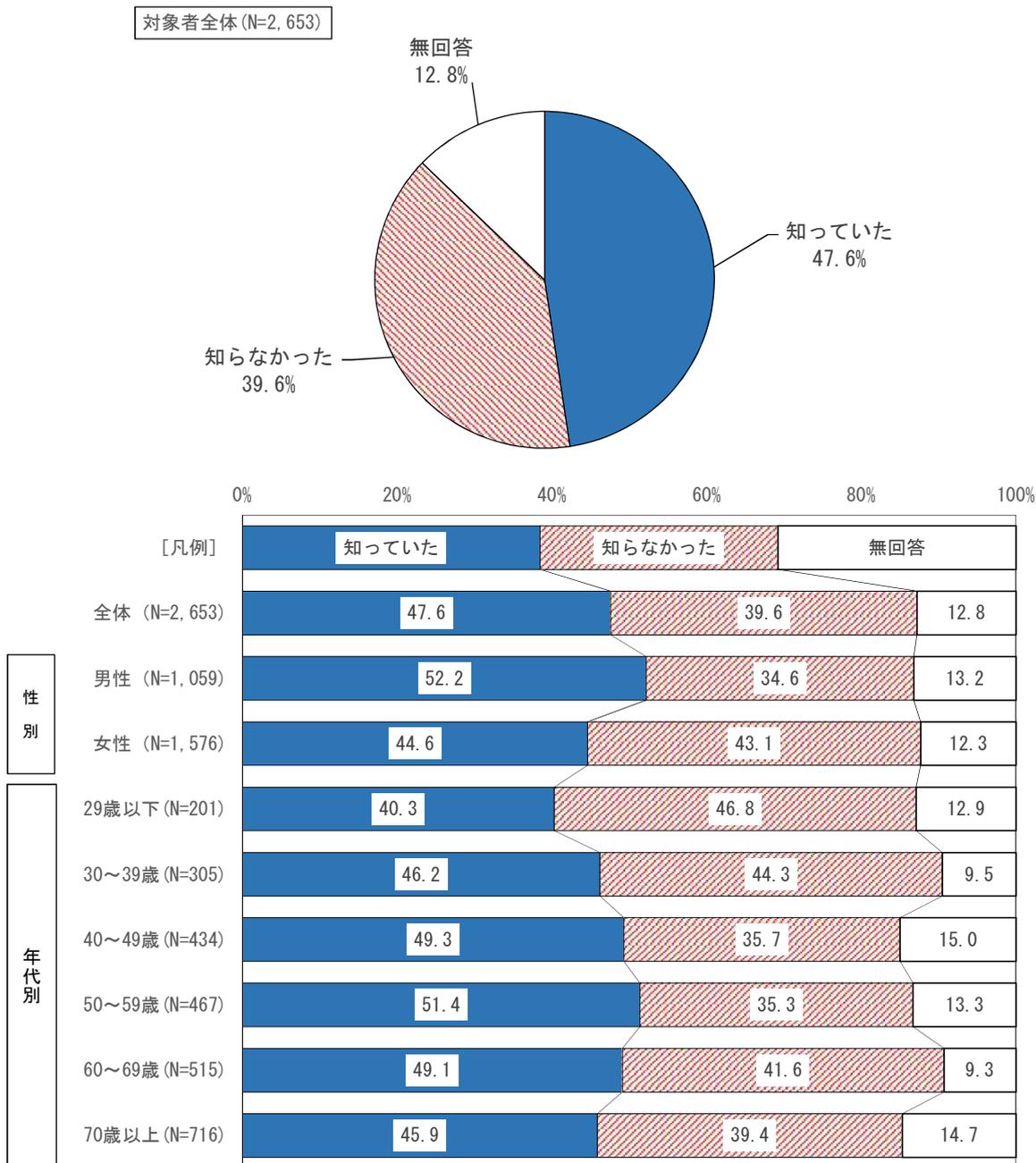
2 調査結果の詳細

(1) 受動喫煙の防止について

◇健康増進法改正の認知度

問1 あなたは、健康増進法が改正されたことを知っていましたか。

健康増進法の改正を「知っていた」人が47.6%



【全体】健康増進法改正の認知度は、「知っていた」が47.6%、「知らなかった」が39.6%となっている。

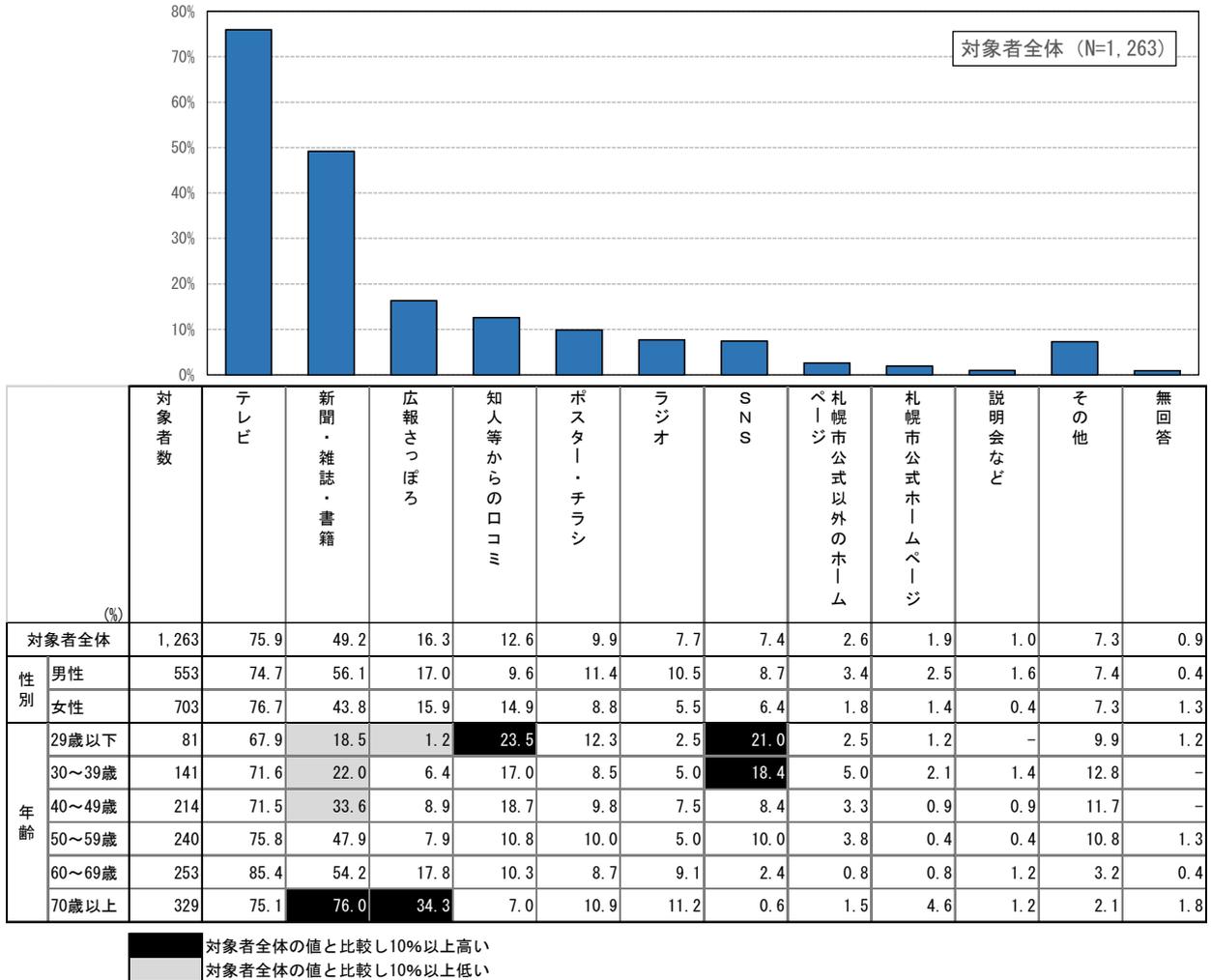
【性別】「知っていた」は、男性で52.2%と、女性の44.6%より7.6ポイント高くなっている。

【年代別】「知っていた」は、50歳代(51.4%)で最も高く、最も低い29歳以下(40.3%)とは、11.1ポイントの差となっている。

◇健康増進法の改正を認知した方法

問 1-2 あなたは、健康増進法の改正またはその内容をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

健康増進法の改正を「テレビ」で知った人が 75.9%



【全 体】健康増進法の改正を認知した方法は、「テレビ」が 75.9%、「新聞・雑誌・書籍」が 49.2%、「広報さつぽろ」が 16.3%となっている。

【性 別】「新聞・雑誌・書籍」、「ラジオ」は、男性が女性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「知人等からの口コミ」は、女性で 14.9%と、男性の 9.6%より 5.3 ポイント高くなっている。

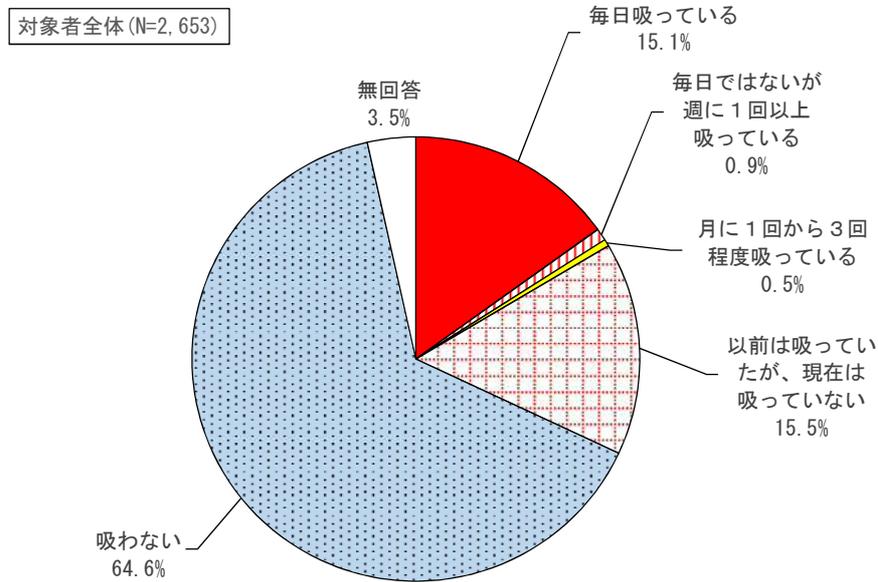
【年代別】「新聞・雑誌・書籍」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇喫煙の有無

問2 あなたは、たばこ（加熱式たばこを含む）を吸いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

たばこを“吸っている”人が16.4%

※ “吸っている”(「毎日吸っている」+「毎日ではないが週に1回以上吸っている」+「月に1回から3回程度吸っている」)



| | 対象者数 | 毎日吸っている | 毎日ではないが週に1回以上吸っている | 月に1回から3回程度吸っている | 以前は吸っていたが、現在は吸っていない | 吸わない | 無回答 | |
|-------|--------|---------|--------------------|-----------------|---------------------|------|------|-----|
| (%) | | | | | | | | |
| 対象者全体 | 2,653 | 15.1 | 0.9 | 0.5 | 15.5 | 64.6 | 3.5 | |
| 性別 男性 | 1,059 | 22.0 | 1.0 | 0.7 | 22.3 | 50.5 | 3.5 | |
| 性別 女性 | 1,576 | 10.3 | 0.8 | 0.4 | 10.9 | 74.3 | 3.3 | |
| 年齢 | 29歳以下 | 201 | 9.0 | 1.0 | 1.5 | 3.0 | 84.6 | 1.0 |
| | 30~39歳 | 305 | 14.1 | 0.3 | 1.0 | 11.8 | 71.5 | 1.3 |
| | 40~49歳 | 434 | 22.1 | 0.5 | 0.7 | 15.4 | 58.3 | 3.0 |
| | 50~59歳 | 467 | 22.3 | 1.7 | - | 18.4 | 54.2 | 3.4 |
| | 60~69歳 | 515 | 16.3 | 0.4 | 0.4 | 18.3 | 61.9 | 2.7 |
| 70歳以上 | 716 | 7.1 | 1.1 | 0.3 | 16.8 | 69.1 | 5.6 | |

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】 喫煙の有無は、「毎日吸っている」が15.1%、「毎日ではないが週に1回以上吸っている」が0.9%、「月に1回から3回程度吸っている」が0.5%、合わせると16.4%となっている。一方、「以前は吸っていたが、現在は吸っていない」が15.5%、「吸わない」が64.6%、合わせると80.1%となっている。

【性別】 “吸っている”は、男性で23.7%と、女性の11.5%より12.2ポイント高くなっている。また、“吸わない”は、女性で85.2%と、男性の72.8%より12.4ポイント高くなっている。

【年代別】 “吸っている”は、50歳代(24.0%)で最も高く、最も低い29歳以下(11.4%)とは、12.6ポイントの差となっている。

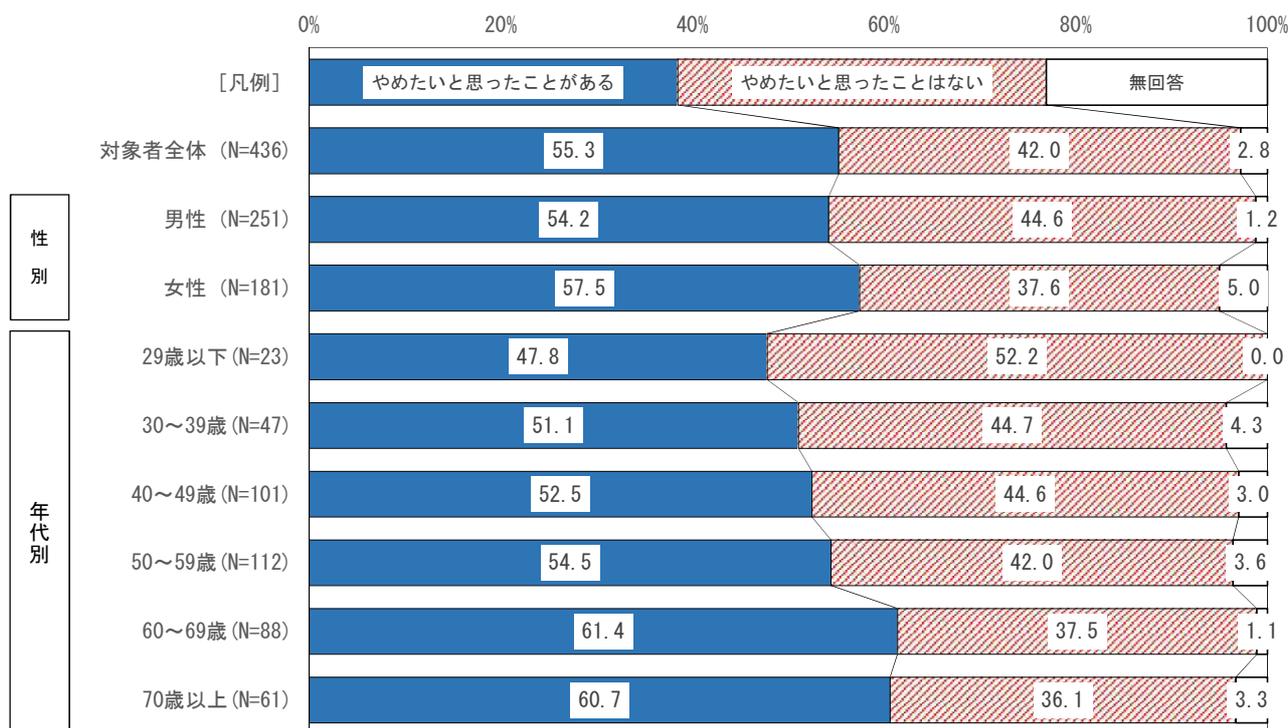
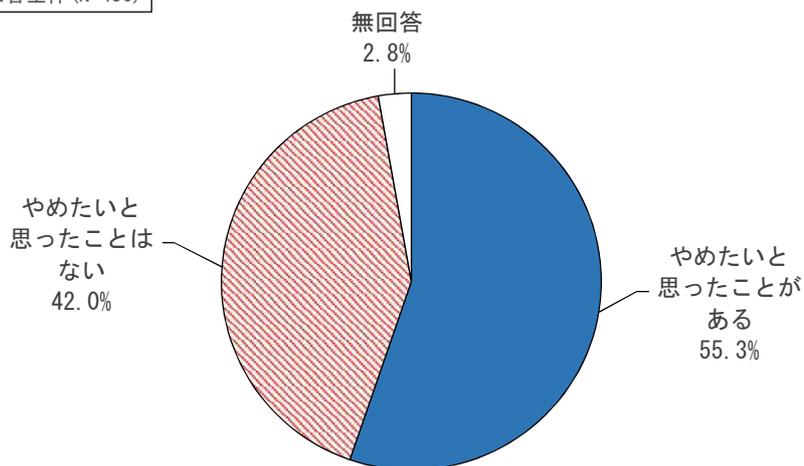
◇過去1年間で喫煙をやめたいと思ったことがあるか否か

《問2で「1 毎日吸っている」「2 毎日ではないが週に1回以上吸っている」「月に1回から3回程度吸っている」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 あなたは、過去1年間で、喫煙をやめたいと思ったことはありましたか。

過去1年間で喫煙を「やめたいと思ったことがある」人が55.3%

対象者全体(N=436)



【全 体】 過去1年間で喫煙をやめたいと思ったことがあるか否かについて、「やめたいと思ったことがある」が55.3%、「やめたいと思ったことはない」が42.0%となっている。

【性 別】 「やめたいと思ったことはない」は、男性で44.6%と、女性の37.6%より7.0ポイント高くなっている。

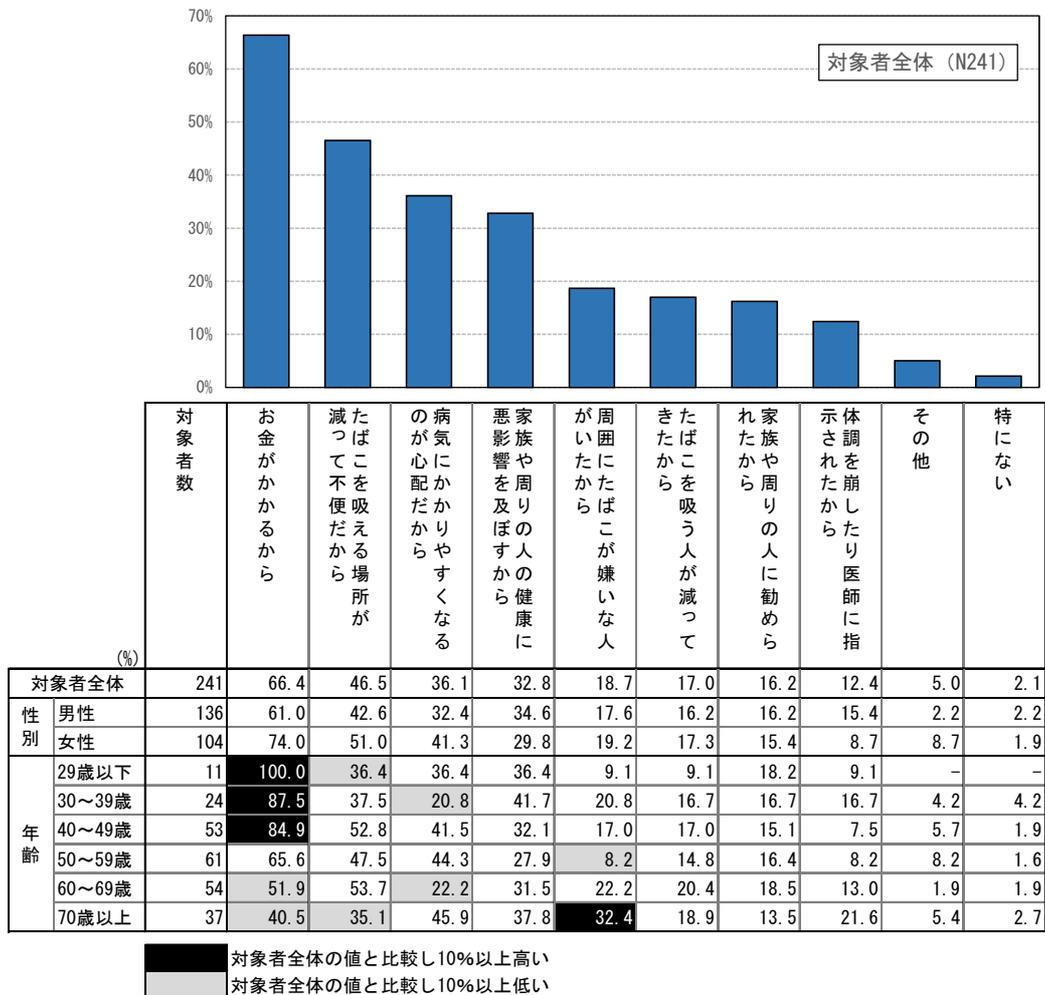
【年代別】 「やめたいと思ったことがある」は、60歳代(61.4%)で最も高く、最も低い29歳以下(47.8%)とは、13.6ポイントの差となっている。

◇過去1年間で喫煙をやめたいと思った理由

《問2-1で「1 やめたいと思ったことがある」と答えた方にお聞きします。》

問2-2 あなたが、過去1年間で、喫煙をやめたいと思った理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

過去1年で喫煙をやめたいと思った理由は「お金がかかるから」が66.4%



【全体】過去1年間で喫煙をやめたいと思った理由は、「お金がかかるから」が66.4%、「タバコを吸える場所が減って不便だから」が46.5%、「病気が心配だから」が36.1%となっている。

【性別】「お金がかかるから」、「タバコを吸える場所が減って不便だから」、「病気が心配だから」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「体調を崩したり医師に指示されたから」は、男性で15.4%と、女性8.7%より6.7ポイント高くなっている。

【年代別】「お金がかかるから」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

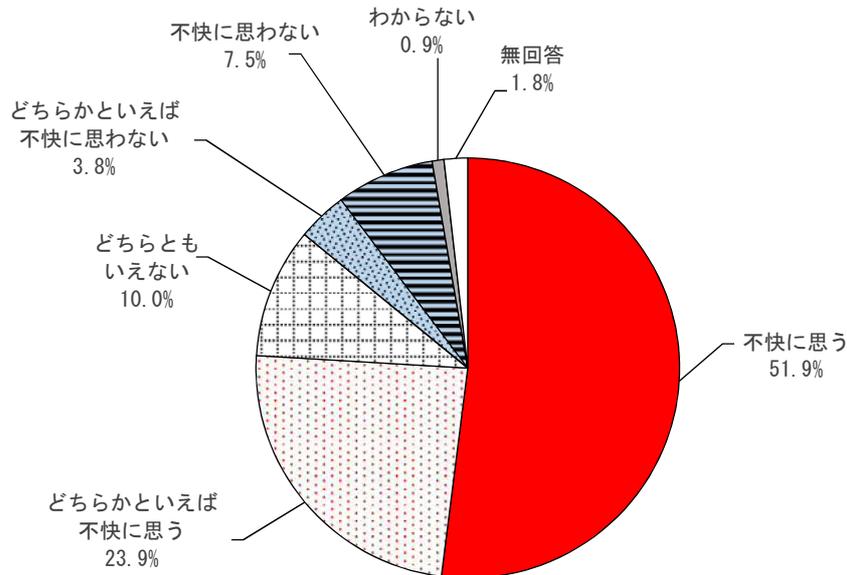
◇たばこの煙を不快だと思うか否か

問3 あなたは、周りの人のたばこの煙を不快に思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

たばこの煙を“不快に思う”人が75.8%

※ “不快に思う”(「不快に思う」+「どちらかといえば不快に思う」)

対象者全体 (N=2,653)



| | 対象者数 | 不快に思う | どちらかといえば不快に思う | どちらともいえない | どちらかといえば不快に思わない | 不快に思わない | わからない | 無回答 | |
|-------|--------|-------|---------------|-----------|-----------------|---------|-------|-----|-----|
| | (%) | | | | | | | | |
| 対象者全体 | 2,653 | 51.9 | 23.9 | 10.0 | 3.8 | 7.5 | 0.9 | 1.8 | |
| 性別 | 男性 | 1,059 | 45.5 | 23.6 | 10.9 | 5.7 | 11.6 | 0.7 | 2.1 |
| | 女性 | 1,576 | 56.3 | 24.2 | 9.5 | 2.6 | 4.7 | 1.1 | 1.5 |
| 年齢 | 29歳以下 | 201 | 46.8 | 27.9 | 12.4 | 3.5 | 7.0 | 2.5 | - |
| | 30~39歳 | 305 | 50.5 | 27.2 | 9.8 | 3.6 | 7.9 | 0.3 | 0.7 |
| | 40~49歳 | 434 | 48.4 | 26.5 | 11.1 | 4.1 | 8.3 | 0.5 | 1.2 |
| | 50~59歳 | 467 | 50.1 | 25.1 | 11.6 | 2.8 | 8.4 | 1.3 | 0.9 |
| | 60~69歳 | 515 | 56.3 | 20.4 | 9.5 | 5.2 | 7.6 | 0.2 | 0.8 |
| | 70歳以上 | 716 | 54.2 | 22.1 | 8.2 | 3.5 | 6.4 | 1.4 | 4.2 |

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】 たばこの煙を不快だと思うか否かについて、「不快に思う」が 51.9%、「どちらかといえば不快に思う」が 23.9%、合わせて 75.8%となっている。一方、「どちらかといえば不快に思わない」が 3.8%、「不快に思わない」が 7.5%、合わせて 11.4%となっている。

【性別】 “不快に思う”は、女性で 80.6%と、男性の 69.1%より 11.5 ポイント高くなっている。

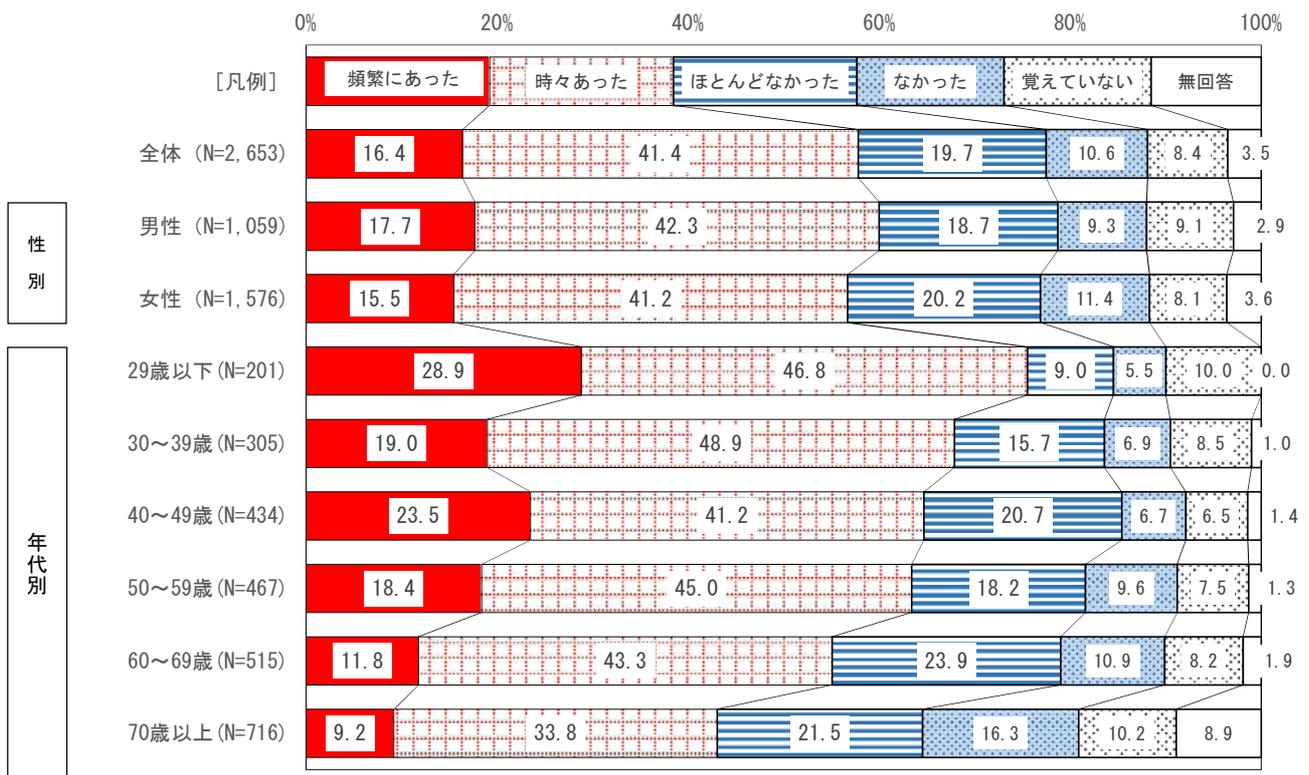
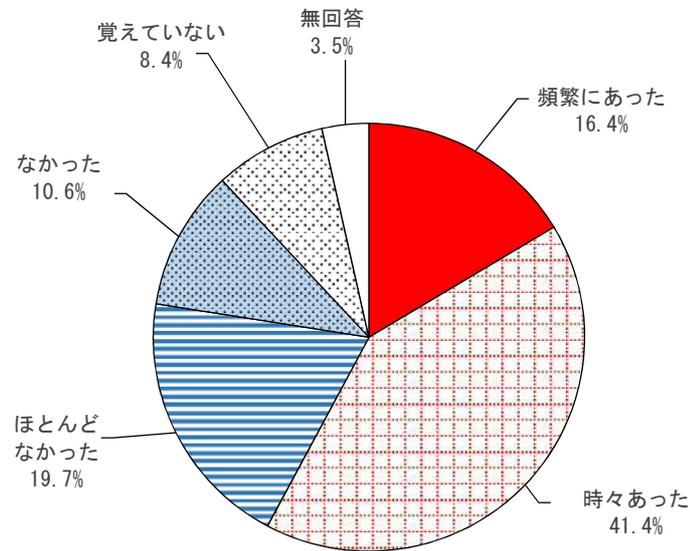
【年代別】 “不快に思う”は、30 歳代 (77.7%) で最も高く、次いで 60 歳代 (76.7%)、70 歳以上 (76.3%) となっている。

◇健康増進法改正前の受動喫煙にさらされる機会

問4 あなたは、2020年4月の健康増進法の改正前、1年以内に受動喫煙にさらされる機会がありましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

健康増進法改正前に受動喫煙にさらされる機会が「頻繁にあった」人が16.4%

対象者全体 (N=2,653)



【全体】健康増進法改正前の受動喫煙にさらされる機会は、「頻繁にあった」が16.4%、「時々あった」が41.4%、「ほとんどなかった」が19.7%、「なかった」が10.6%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「頻繁にあった」は、29歳以下(28.9%)で最も高く、次いで40歳代(23.5%)、30歳代(19.0%)となっている。

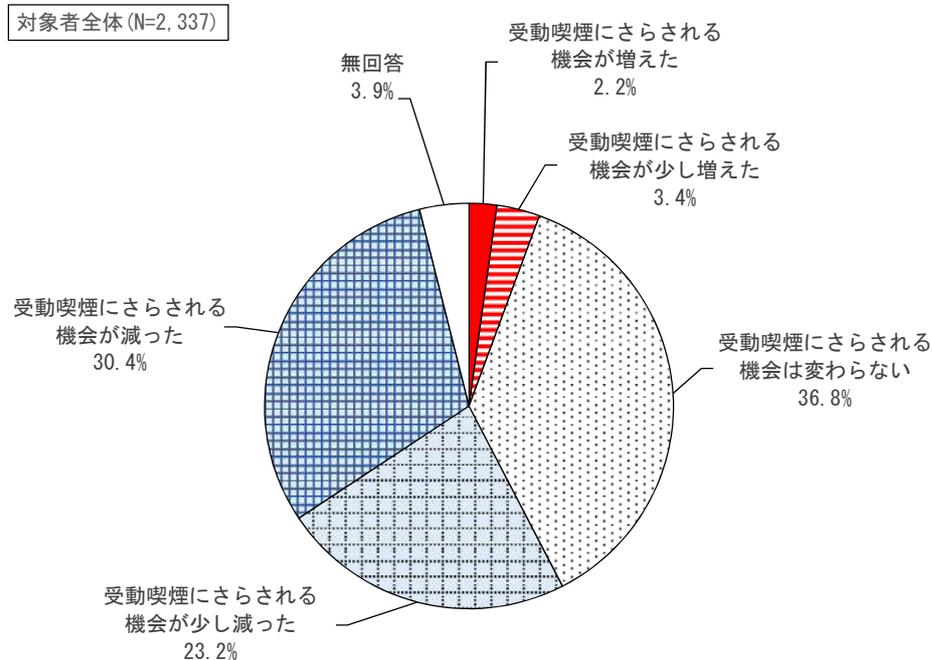
◇健康増進法改正後の受動喫煙にさらされる機会

《問4で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします》

問4-1 2020年4月の健康増進法の改正後、あなたが、受動喫煙にさらされる機会に変化はありましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

健康増進法改正後に“受動喫煙にさらされる機会が減った”人が53.7%

※ “受動喫煙にさらされる機会が減った”(「受動喫煙にさらされる機会が減った」+「受動喫煙にさらされる機会が少し減った」)



| | 対象者数 | 受動喫煙にさらされる機会が増えた | 受動喫煙にさらされる機会が少し増えた | 受動喫煙にさらされる機会は変わらない | 受動喫煙にさらされる機会が少し減った | 受動喫煙にさらされる機会が減った | 無回答 |
|--------|-------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|-----|
| 対象者全体 | 2,337 | 2.2 | 3.4 | 36.8 | 23.2 | 30.4 | 3.9 |
| 性別 | | | | | | | |
| 男性 | 932 | 3.0 | 3.8 | 36.8 | 24.2 | 29.2 | 3.0 |
| 女性 | 1,391 | 1.7 | 3.2 | 36.8 | 22.7 | 31.3 | 4.2 |
| 年齢 | | | | | | | |
| 29歳以下 | 181 | 2.8 | 2.2 | 45.3 | 28.2 | 19.9 | 1.7 |
| 30～39歳 | 276 | 1.1 | 4.0 | 45.3 | 27.9 | 20.7 | 1.1 |
| 40～49歳 | 400 | 1.8 | 3.5 | 43.8 | 24.5 | 25.0 | 1.5 |
| 50～59歳 | 426 | 2.1 | 4.9 | 40.1 | 21.8 | 30.3 | 0.7 |
| 60～69歳 | 463 | 3.5 | 3.5 | 36.7 | 20.1 | 31.7 | 4.5 |
| 70歳以上 | 579 | 2.1 | 2.4 | 22.8 | 22.5 | 41.5 | 8.8 |

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】健康増進法改正後の受動喫煙にさらされる機会は、「受動喫煙にさらされる機会が増えた」が2.2%、「受動喫煙にさらされる機会が少し増えた」が3.4%、合わせると5.6%となっている。一方、「受動喫煙にさらされる機会が少し減った」が23.2%、「受動喫煙にさらされる機会が減った」が30.4%、合わせると53.7%となっている。なお、「受動喫煙にさらされる機会は変わらない」が36.8%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

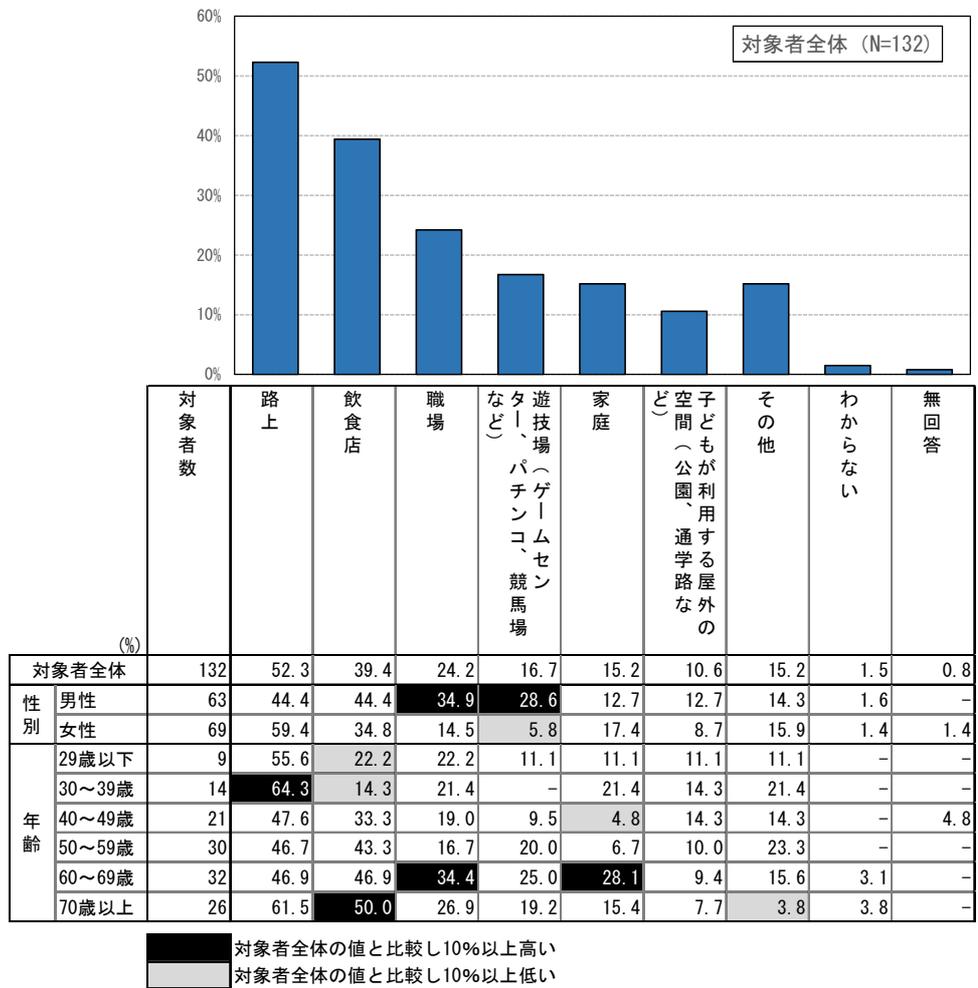
【年代別】“受動喫煙にさらされる機会が減った”は、70歳以上(63.9%)で最も高く、次いで50歳代(52.1%)、60歳代(51.8%)となっている。

◇受動喫煙の機会が増えたと感じる場所

《問4-1で「1 受動喫煙にさらされる機会が増えた」または「2 受動喫煙にさらされる機会が少し増えた」と答えた方にお聞きます。》

問4-2 あなたが、受動喫煙にさらされる機会が増えたと感じる場所はどこですか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

健康増進法改正後に「路上」での受動喫煙の機会が増えたと感じている人が52.3%



【全体】受動喫煙の機会が増えたと感じる場所は、「路上」が52.3%、「飲食店」が39.4%、「職場」が24.2%となっている。

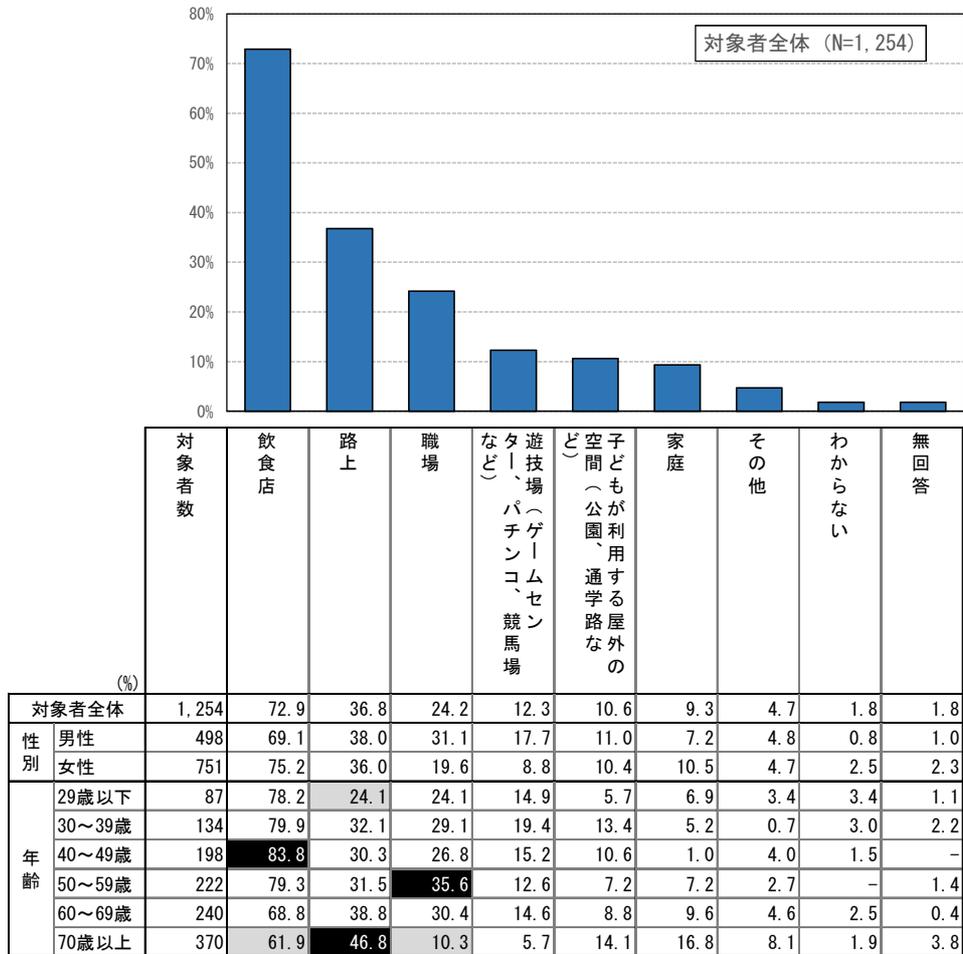
【性別】「路上」は、女性で59.4%と、男性の44.4%より15.0ポイント高くなっている。また、「職場」、「遊技場」は、男性が女性より20.0ポイント以上高くなっている。

◇受動喫煙の機会が減ったと感じる場所

《問4-1で「4 受動喫煙にさらされる機会が少し減った」または「5 受動喫煙にさらされる機会が減った」と答えた方にお聞きます。》

問4-3 あなたが、受動喫煙にさらされる機会が減ったと感じる場所はどこですか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

健康増進法改正後に「飲食店」での受動喫煙の機会が減ったと感じている人が72.9%



■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】受動喫煙の機会が減ったと感じる場所は、「飲食店」が72.9%、「路上」が36.8%、「職場」が24.2%となっている。

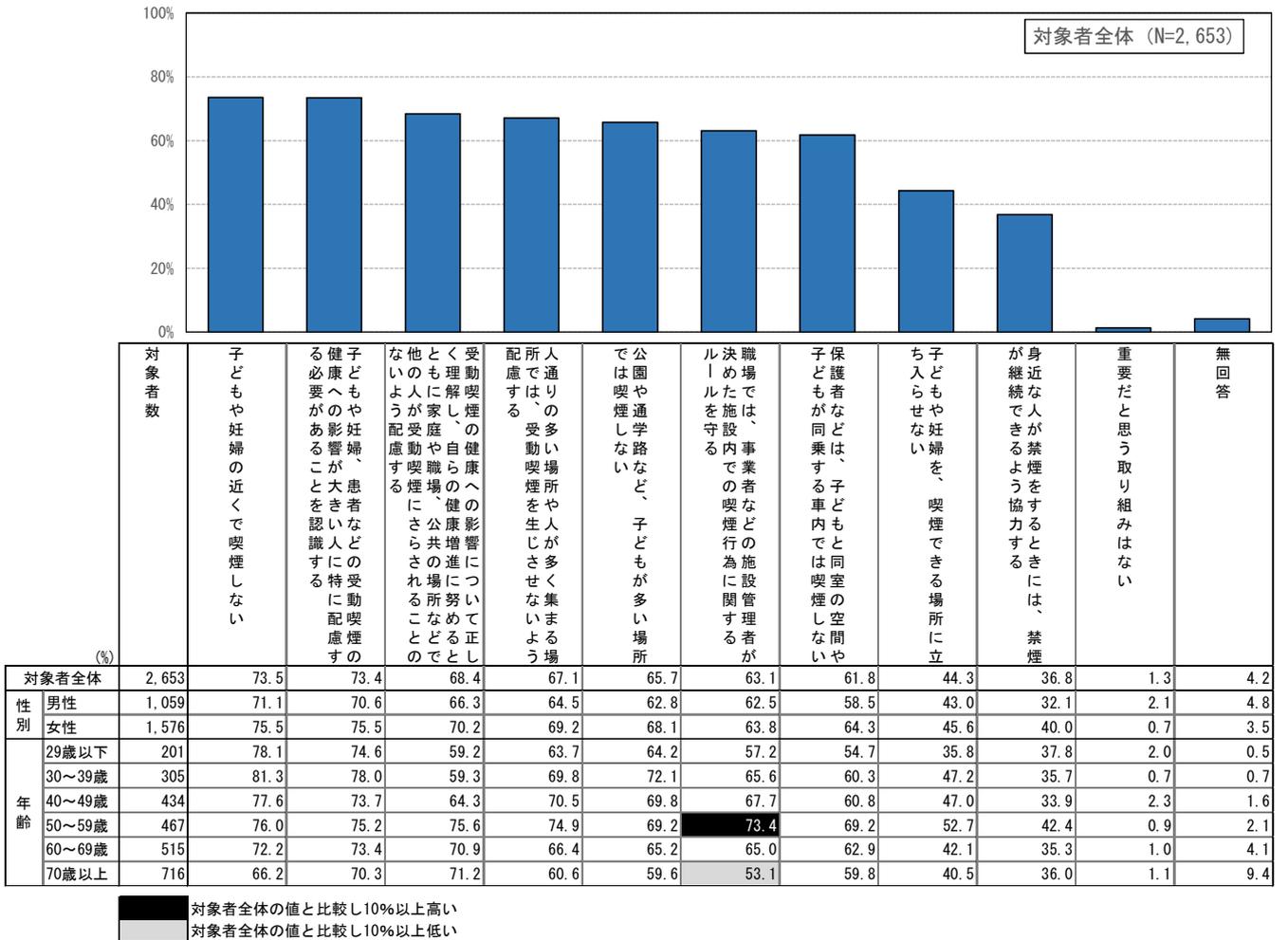
【性別】「飲食店」は、女性で75.2%と、男性の69.1%より6.1ポイント高くなっている。また、「職場」、「遊技場」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「路上」は、70歳以上(46.8%)で最も高く、次いで60歳代(38.8%)、30歳代(32.1%)となっている。

◇「さっぽろ受動喫煙防止宣言」の中で重要だと思う取り組み

問5 「さっぽろ受動喫煙防止宣言」には、市民として実施できるものとして以下の取り組みを例示しています。あなたは、受動喫煙のないさわやかなまちにするため、どのような取り組みが重要であると考えますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「さっぽろ受動喫煙防止宣言」の中で重要だと思う取り組みは「子どもや妊婦の近くで喫煙しない」が73.5%



【全体】「さっぽろ受動喫煙防止宣言」の中で重要だと思う取り組みは、「子どもや妊婦の近くで喫煙しない」が73.5%、「子どもや妊婦、患者などの受動喫煙の健康への影響が大きい人に特に配慮する必要があることを認識する」が73.4%、「受動喫煙の健康への影響について正しく理解し、自らの健康増進に努めるとともに家庭や職場、公共の場所などで他の人が受動喫煙にさらされることのないよう配慮する」が68.4%となっている。

【性別】「公園や通学路など、子どもが多い場所では喫煙しない」、「保護者などは、子どもと同室の空間や子どもが同乗する車内では喫煙しない」、「身近な人が禁煙をするときには、禁煙が継続できるよう協力する」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「子どもや妊婦の近くで喫煙しない」は、30歳代(81.3%)で最も高く、最も低い70歳以上(66.2%)とは、15.1ポイントの差となっている。